

令和4年度指導農業者・農業士
新規認証者を紹介します

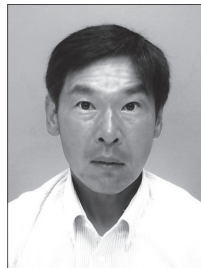
令和5年1月12日、TKP
ガーデンシティ千葉において千
葉県農業士・指導農業者認証式
典が開催されました。

千葉県指導農業者・農業士
は、農業者としての意欲と社会
的評価を高めるとともに、農業
後継者の養成を図ることを目的
に、昭和52年度から千葉県知事
が認証しています。

今年度は千葉県全体で、指導
農業者13名、農業士18名が認証
され、千葉地区では新たに指導
農業者2名、農業士2名が認証
されました(写真参照)。

指導農業者、農業士には、そ
れぞれ県組織と地区組織があ
り、視察研修、経営訪問、情報
交換会、後継者育成等が主な活
動となっています。

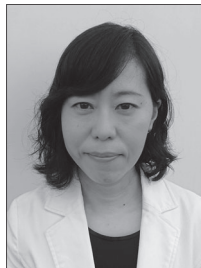
皆様の今後一層の御活躍を期
待します。



指導農業者
中川 光男さん
千葉市
養豚



高橋 充さん
八千代市
酪農



農業士
澤守 久美子さん
千葉市
施設・露地野菜



齋藤 拓也さん
市原市
水稻



食品表示法に基づく玄米・
精米の表示方法について

袋詰め等の容器包装に入れた精
米等を販売する場合は食品表示法
に基づく表示が必要です。

食品表示基準の一部改正により
表示方法に変更がありましたので、
御紹介します。

【精米時期・調製時期になりました】

令和2年3月27日の改正によ
り、「精米(調製)年月日」から
「精米(調製)時期」となりまし
た。それぞれの時期を、「年月上
旬/中旬/下旬」又は「年月日」で
表示しましょう。

【未検査でも、根拠資料の保管に
よって「単一原料米」との表示が
可能になりました】

令和3年7月1日から、今まで
「未検査米」と表示していた農産
物検査による証明を受けていない
原料玄米のうち、産地・品種・産
年が同一であり、その根拠を示す

資料を保管している場合は、「単
一原料米」と表示できるようにな
りました。

【表示の一例】
単一原料米の場合

名称	精米		
	産地	品種	産年
原料玄米	単一原料米 千葉県 コシヒカリ ○○年産		
内容量	○kg		
精米時期	○○年○○月○旬		
販売者	株式会社○○米店 千葉県○○市○○町○○-○ 電話番号 ○○(○○)○○○		

【不適正表示例】

よくある例として、①「単一原
料米」等の表記の欠落、②調
製「時期の調「整」時期との誤
字、③販売者の電話番号の表記の
欠落がありますので御注意くださ
い。

ぜひこの機会に、御自身の表示
について御確認ください。詳しく
は消費者庁ホームページに掲載さ
れている「食品表示基準Q&A」
を御参照ください。

GAP活用について農業者向けセミナー

～いちほフルーツセミナーでGAP研修会を開催～

農務事務所では、市原市やJA
市原市と連携して、市内で果樹の
生産と販売をしている女性農業者
の学習組織「いちほフルーツセ
ミナー」の会員を対象に、GAP
研修を開催しました。

事前に、会員に営農する上での
問題を聞き取ったところ、直売所
の衛生管理や農作業時の安全対策
について関心が高いことが分か
りました。そこで、農作業事故体験
VRの視聴や直売所の問題点を話
し合う内容とし、GAP手法の活
用に対する理解を深めました。次
に、会員の直売所やほ場をJGAP
Pアドバンス上級指導員と一緒に
点検しながら、問題点や改善方法
を学びました。参加者からは「作
業手順を家族で話し合い、紙に書
いて掲示する」、「整理・整頓し、ハ
サミなどは所定の場所以外に置か



直売所でGAP手法に基づいて衛生管理などを点検する会員

ない」などの具体的な改善案が出
されました。また、12月には会員
や関係機関の職員が集まり、セル
フチェックしながら本年度の反省
点と来年度の目標を話し合いまし
た。

これらの活動の結果、パートの
仕事手順をマニュアル化し掲示す
ること、電灯をLEDにするこ



ナシほ場で安全管理などを点検

と、出荷コンテナの清掃回数を増
やすこと、事故防止のために駐車
場にコーンを置くこと、ほ場の危
険個所に目立つ色で目印を付ける
ことなどの改善を進めています。
また、市原市がJGAP指導員
資格取得への補助事業を新設し、
これを利用して会員2名が資格を
取得しました。来年度は、JGAP
P指導員資格を取得した生産者の
直売所やほ場で研修会を開催する
予定です。

千葉農業事務所

普及だより

URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-chiba/>

【第156号】2023年3月1日

発行：千葉農業事務所改良普及課
千葉地域農林業振興普及協議会
千葉市緑区大金沢町473-2
(千葉農業事務所 分庁舎)

TEL043(300)0950

FAX043(293)2710

畑の排水対策

近年、台風やゲリラ豪雨など、大量の雨による農作物の被害が多発しています。そこで、畑での排水対策について紹介します。

1 地表の排水

(1)明きよ

ほ場の周囲に設置する額縁明きよに加えて、大きいほ場では何本かほ場内明きよを施工します。必ず落水口と排水路を設置し、ほ場外までの水の流れを確保します(図1)。

(2)高畝栽培

高い畝を立てて、湿害を回避します。畝間の水は、額縁明きよから落水口へ導き、排水します。長い畝の場合は、畝を途中で切り、額縁明きよへ繋ぎます。

2 地下の排水(補助暗きよ)

(1)サブソイラー

作土層の下にある耕盤を砕き、透水性・排水性の向上と、空気の通り道を作ります。

(2)パラソイラー

「くの字型ナイフ」によって、土を反転させずに耕盤を破砕し、作業幅全層の土を膨軟にすることができます。

(3)カットドレーン

ナイフで切れ目を入れながら地下40〜70cmに約10〜15cmの四角形の通水空洞を作り、余剰水をほ場外に排水します。重粘土や泥炭土で適用性が高く、2年ほど空洞が維持されます。

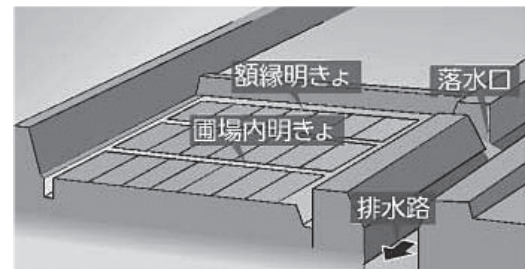


図1 額縁明きよ等ほ場内明きよと排水路(技術と普及 2022年5月)

出穂期予測アプリで 水稻の適期管理を!

千葉県農林総合研究センターでは、水稻の出穂期を予測する無料アプリ「でるた™」を開発しています。アプリでは、アメダス地点、品種、田植日を選択することで、出穂期を予測し、①穂肥適期②畦畔草刈り期限③カメムシ防除適期④収穫適期の目安を計算します(図2)。



図2 「でるた™」の予測・計算方法 (参考) 水稻の出穂期については場全体の40〜50%の茎から穂が出た時期

アプリについて詳しく知りたい方や利用したい方は「でるた 千葉県」で検索してください。

●適期管理の重要性について

①穂肥

早い穂肥は倒伏増大、遅いと食味低下のリスクがあります。

②畦畔草刈り

出穂直前の畦畔草刈りは、カメムシ類が生息場所を失って水田の中に一斉に侵入し、被害を助長する可能性があります。

③カメムシ防除

出穂〜穂揃期の加害で不稔やしいな粒が発生し減収、乳熟期以降の加害で斑点米が発生するため、適期防除が重要です。

④適期収穫

早刈りは充実が不足し、青米や未熟粒が増えます。適期を過ぎると胴割れの発生や倒伏、穂発芽のリスクが高まります。適期作業で水稻の収量・品質の向上を目指しましょう。

農業経営体育成セミナー 研修生の募集について

農業事務所では就農間もない青年農業者を対象に、農業経営体育成セミナーを開催しています。受講期間は3年間で、営農に必要な知識や技術の習得を目的としています。また、同じ時期に就農した仲間とのつながりを築けるのも大きなメリットです。

令和5年度は、5月に開講を予定しています。参加の希望や詳細については、農業事務所までお気軽にお問い合わせください。

〔電話〕043(300)0950



本人(左)と妻 明美さん(右)

して発展を続けています。



ロゴマークと一緒に写る 齊藤さん

地域から頼られる存在に

八千代市志田啓佑さん

八千代市米本の志田啓佑さん(46歳)は、幼いころからの夢である農家になるため、それまで働いていた会社を辞めて、平成26年に就農しました。現在は、施設野菜(いちご10a)、露地野菜(ピーマン、唐辛子、オクラ各5a)を栽培しています。主に、道の駅やちよやJA八千代市の農産物直売所「よったいよ」で販売し

ています。いちごの味は評判で、近所の方が直接御自宅に買いに来ることもあるそうです。

○地域の農地を守る担い手

就農から5年後には米本地区の水田約45haを耕作する農事組合法人米本の構成員になりました。現在では主力として、肥料や農薬の注文の取りまとめ等重要な役割を任されています。「米本の人が困ったときに助けてあげられるような、頼られる存在になりたい」と力強く語る志田さん。これから地域の担い手として、ますます活躍されることを期待しています。



講師の説明を熱心に聞く受講生

「千の春を迎えたい」 ちはる農園の取組

千葉県 齊藤憲次さん

齊藤さんは、「自分一人で物事を決められる仕事がしたい」と考え、千葉市若葉区で「ちはる農園」を開園して今年10年目を迎えます。現在は800坪のハウスでいちご、メロン、えだまめを栽培し、ほ場併設の店舗で販売するほか、3月〜4月にはいちご観光農園を開設しています。

いちごは味と大きさにこだわりの、「スーパーでは買えないいちご」として差別化しています。また、店舗の内装は「和の心」を意識し、客の印象に残る工夫をしています。

「千の春を迎えたい」「千葉の春を代表する農園にしたい」という願いを込めて名付けた「ちはる農園」。齊藤さんの願いどおり、ここにしかないものを求めて、客が何度も足を運びたくなる農園と